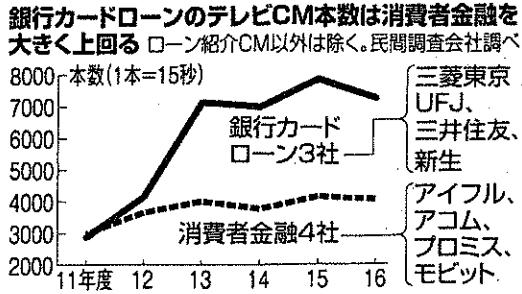


銀行カードローン 規制外でCM増加

消費者金融の倍 自粛の動きも

銀行が無担保で多額のお金を貸すカードローンで、テレビCMの本数が消費者金融を大きく上回ることがわかった。消費者金融は本数が規制されるが、銀行は規制外のためだ。すでに貸



付残高は消費者金融を上回り、多重債務の懸念もある。銀行の中には放送を減らす動きも出てきた。

民間調査会社によると、大手銀行（三菱東京UFJ、三井住友、新生）と消費者金融（アイフル、アコム、SMBコンシューマーファイナンス、プロミス、モビット）のCM放送本数（1本＝15秒換算、関東地区）を比べると、最近では銀行が2倍程度。16年度は三井住友が約3020本、新生が約2230本、三菱東京UFJが約1990本。消費者金融は780～1170本。み

ずは銀行はゼロだった。消費者金融は、貸金業法で広告の自主規制が求められている。業界ではCMを1社で月100本以下とし、午前7～9時、午後5～10時は禁止。一方、銀行は同法の規制外だ。テレビ局の基準で午後5～9時は流せないが、朝は流せる。

消費者金融は貸し付け上限が定められ、CMも規制される。規制外の銀行カードローンは過剰融資の懸念が強まっており、三菱東京UFJは4月からCMを月100本以下とし、時間帯も見直した。（藤田知也）